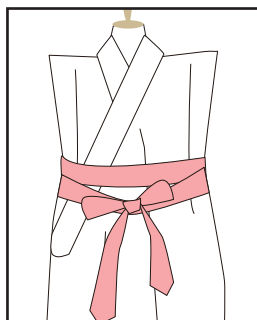
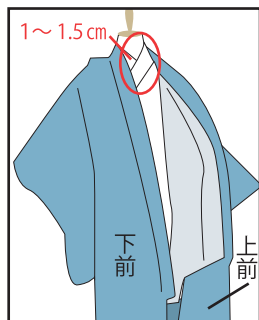


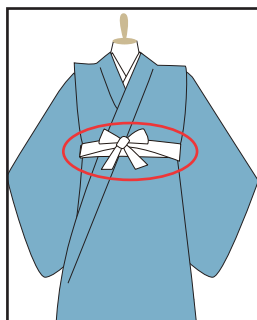
七五三 男の子 着付け方 羽織袴タイプ



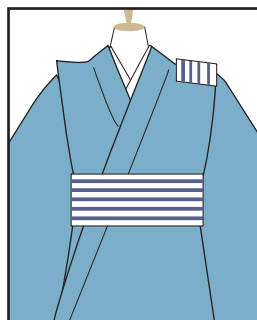
① 衿もとを首にピッタリと合わせるように、袖なし襦袢を着せて腰ひもで締めます。



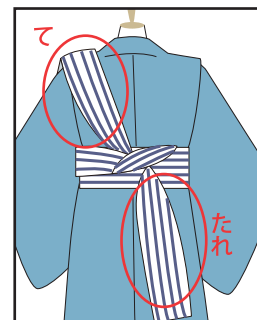
② 着物を着せて下前から合わせます。半衿は、1~1.5 cmくらい出します。



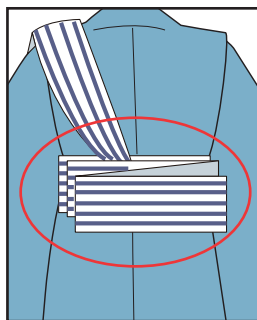
③ 上前を合わせて腰ひもを締めます。シワやたるみをきれいに整えます。



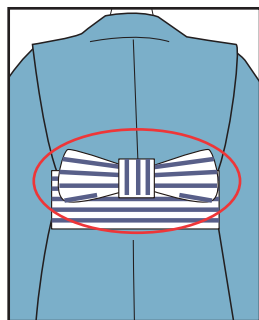
④ 帯を2周巻きます。あまり強く締めて苦しくないように注意しましょう。



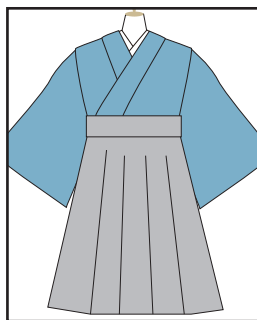
⑤ 帯を後ろの中心で「て」の部分を約40 cm残し、ひと結びして引き締めます。



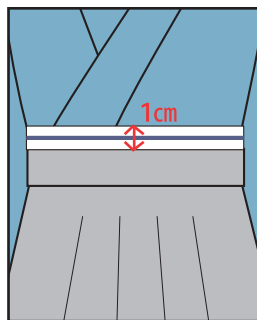
⑥ 「たれ」の部分を手にとって、15 cm幅ずつ中へ折り込んでいきます。折り込んだ「たれ」は山折りして立体感を出します。



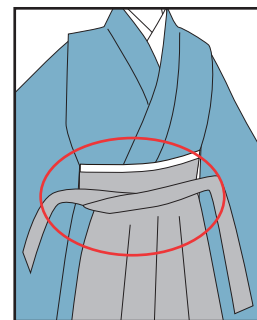
⑦ 「て」の部分を、先ほど折り込んだ「たれ」に巻きます。余った部分は帯の間に入れます。



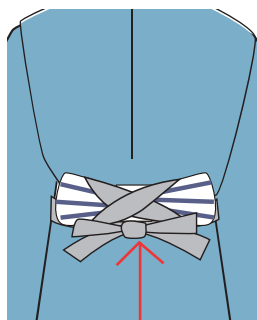
※⑧ 袴をはかせます。体とひだの中心がずれないように前ひもを合わせます。袴の後ろは下に垂らしておきます。



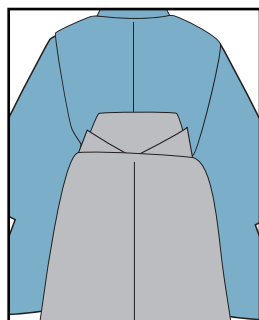
⑨ 帯が1 cmくらい見えるように袴をおさえます。



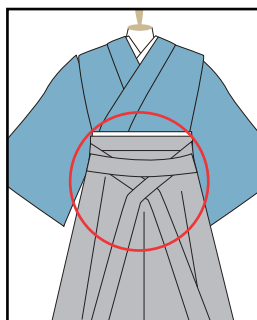
⑩ 前ひもを後ろにまわし、帯の結び目をおさえるように交差させます。さらに前で少し下の位置で交差させて後ろにまわします。



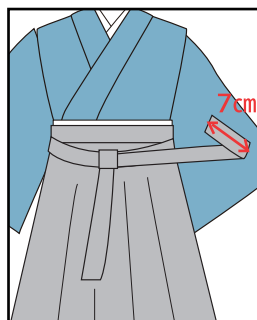
⑪ 帯の結び目の下あたりで前ひもを結びます。



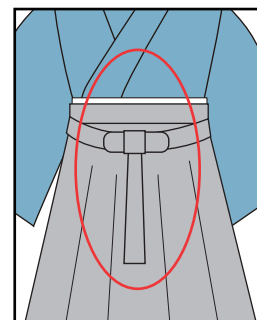
⑫ 袴の後ろを背中につけます。腰板についているへらを帯と背中の間にはさみ、腰板を結び目の上に安定させます。



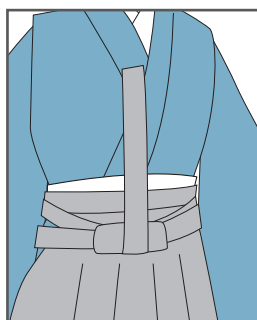
⑬ 後ろひもを前にまわし、前ひもの内側にクロスするように通します。体の中心でひもの内側に、後ろひもを上から下に2回くぐらせます。



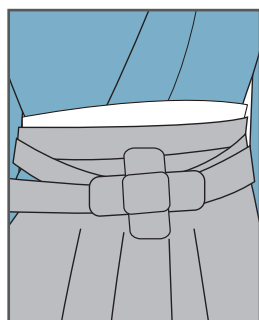
⑭ 右のひも先を手に取り、7 cmほどの長さで中へ折り込んでいきます。



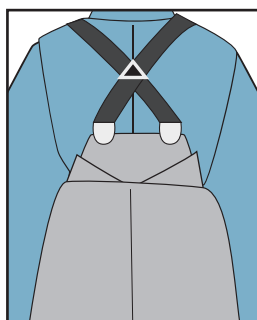
⑮ 左のひも先を折り込んだひも先の中心に上からまっすぐ下ろし、十文字になるように整えます。



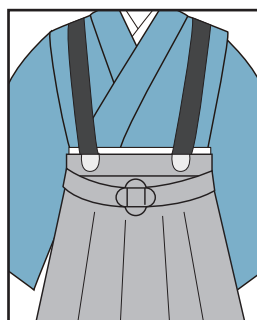
⑯ 十文字の横と縦が同じ長さになるようにします。ひもが長い場合は数回巻きます。



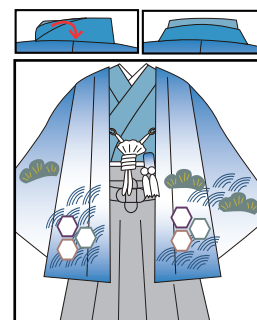
⑰ 上と下の輪をつかって先端を内側に折り込み、十文字をきれいに整えます。



⑱ 袴のずれ落ちが心配な場合は、サスペンダーを袴に取り付けます。

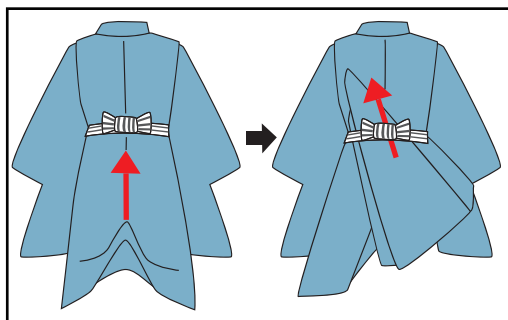


⑲ 帯ではなく袴にサスペンダーを取り付けるようにして下さい。

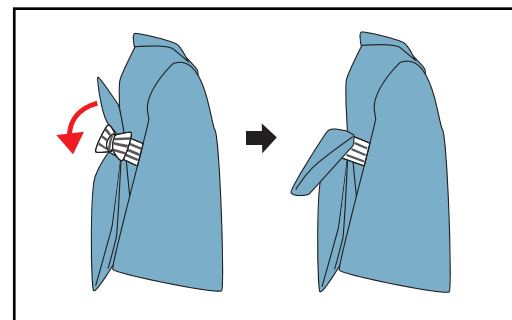


⑳ 羽織を着せて、衿を外側に半分折ります。未広や懐剣を飾り、羽織ひもをつけて完成です。

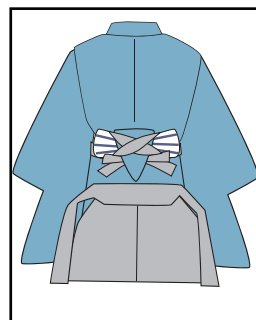
※ 着物が袴より長くなりそうな場合は、着物の裾をまくり上げて角帯に挟み込みます。



着物の裾を、角帯の下へ挟み込みます。



角帯にくぐらせた裾を下向きにして整えます。



袴をはかすときは着物を角帯にはさんだ上から袴紐を交差させます。